

# あさがおの つるをつかった リースのつくりかた

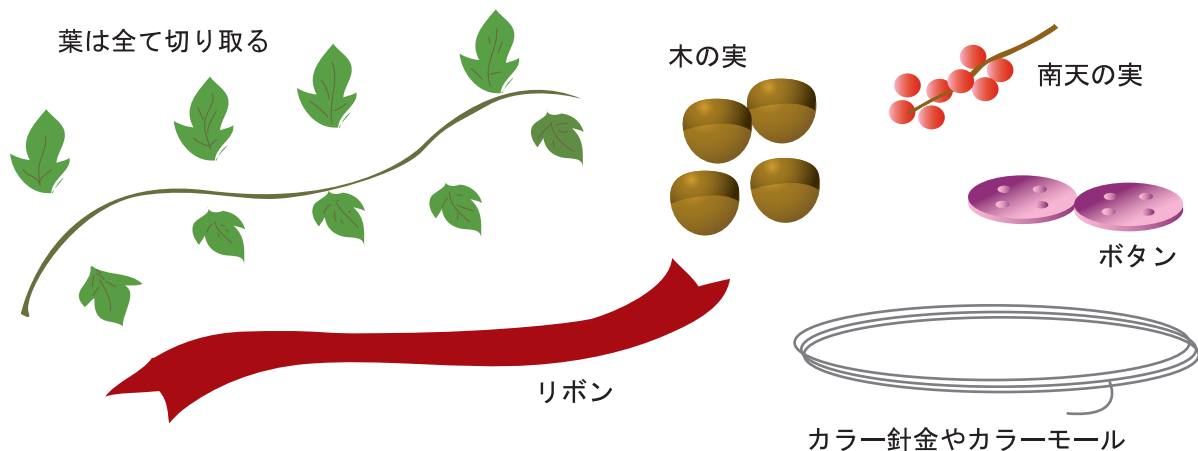


用意するもの

- 朝顔のつる数本
- 飾り付け材料いろいろ
- 接着剤
- ホットボンド(つるに湿り気がある場合は、通常の接着剤は使いにくいので、ホットボンドがあると便利です)
- 細い針金や、ひも(つるに形をつけたり、つるをまとめたりします)

## 1 つるや飾り付け材料をあつめる

- 種を収穫したあとで、あさがおのつるを集めます。  
※つるが完全に乾燥してしまうと、作業がしにくくなるので、つるを集めたらすぐにリース作りを開始しましょう。
- ※つるが支柱にからみついて取りにくい場合、支柱のパイプを支柱枠から外すと取りやすくなります。
- つるから、葉などの余分なところを全て切り取っておきます。
- 飾り付け材料は、何でもいいのですが、木の实、末ぼっくり、木の枝、葉っぱの他に、かわいいボタンやビーズ、リボン、モールなども使えます。



## 2 つるを巻く

- 3本程度をまとめて、三つ編み風に編む。
- 編んだものに更に数本巻きつけると、よりしっかりします。
- 編み上げたものをリング状にする。
- 端は、編み目に差し入れてとめる。とめにくい時はリボンやひも、針金などで縛りましょう。
- リースの形をハート型や星型にしたい場合は、芯に針金を入れて編むか、編んだ後に細い針金を巻きつけて、形を整えましょう。

## 3 飾り付ける

- 作ったリースに自由に飾り付けをします。
- 木の枝などは、はしをとがらせて、リースに差します。
- 松ぼっくり、木の实などは、ホットボンドで取り付けます。
- リボンやモールなどを巻くと、その色でよりリースが引き締まります。

